

早生温州のマルチ栽培樹の減酸に効果的な灌水時期

〔要約〕 早生温州のマルチ栽培樹で果実品質を高めるには10月上旬の灌水が最も効果的であるが、乾燥ストレスを低下させ、減酸効果も高めるには9月中旬から10月上旬の灌水が効果的である。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科

専門

栽培

対象

果樹類

分類

指導

平成3年、4年長崎県果樹試験場業務報告

〔背景・ねらい〕

マルチ栽培は、降雨を遮断して収穫時の糖度を高くする技術だが、同時に酸含量も高くなる。そこで、「興津早生」を用い、灌水量一定（10 t / 10a）で、灌水時期と灌水後の果実品質との関係から、減酸に有効な灌水時期を検討した。

〔成果の内容・特徴〕

- ①灌水開始期から収穫期までの減酸量は、9月中旬灌水が大きい（図1）。
- ②灌水後2週間の減酸量は9月中旬灌水が他の灌水時期に比べ大きい（図1）。
- ③9月中旬から収穫時までの増糖量は、9月中旬に灌水したものが2か年ともやや低い（図2）。
- ④灌水後の葉の水ポテンシャルの減少量は9月中旬灌水区が大きい。また、灌水時期が遅くなると灌水後の水ポテンシャルの減少量が小さい（図3）。
- ⑤以上のことから、9月中旬から10月上旬に灌水した方が乾燥ストレスが低下し、減酸量も大きい。

〔成果の活用面・留意点〕

過度の乾燥ストレスがかかりやすい場合、早めに灌水をする。

[具体的データ]

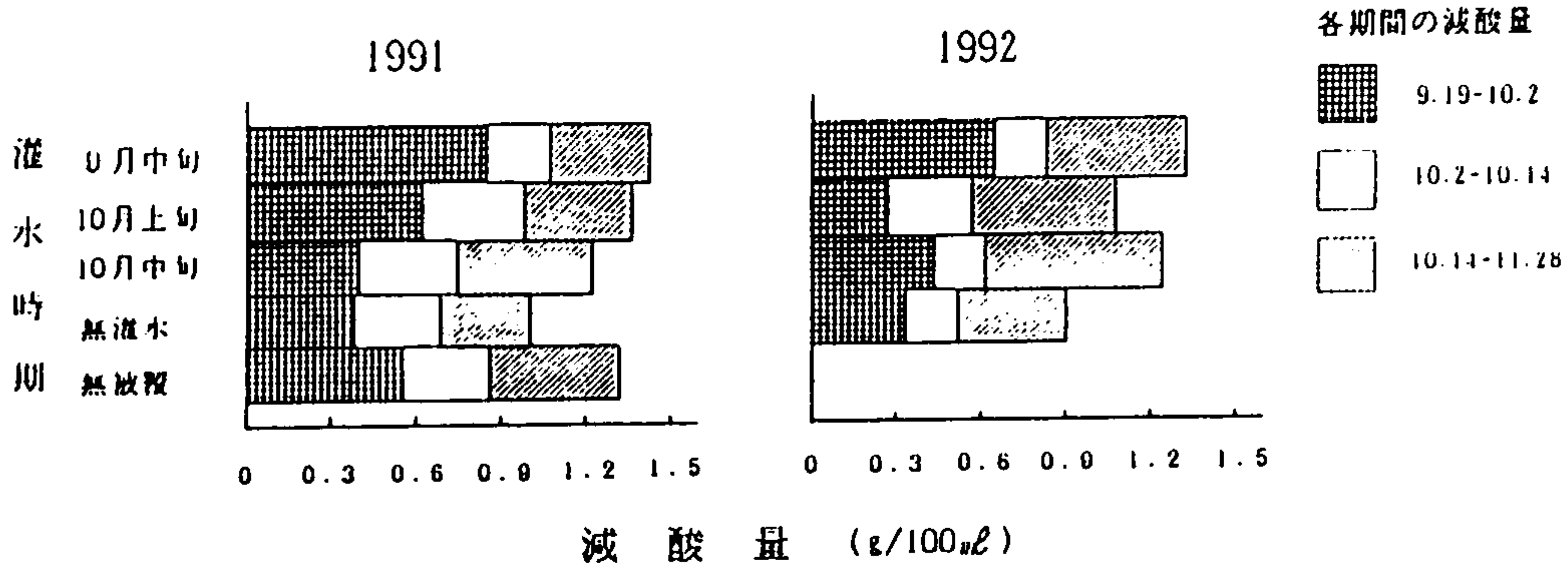


図1 灌水時期と減酸量

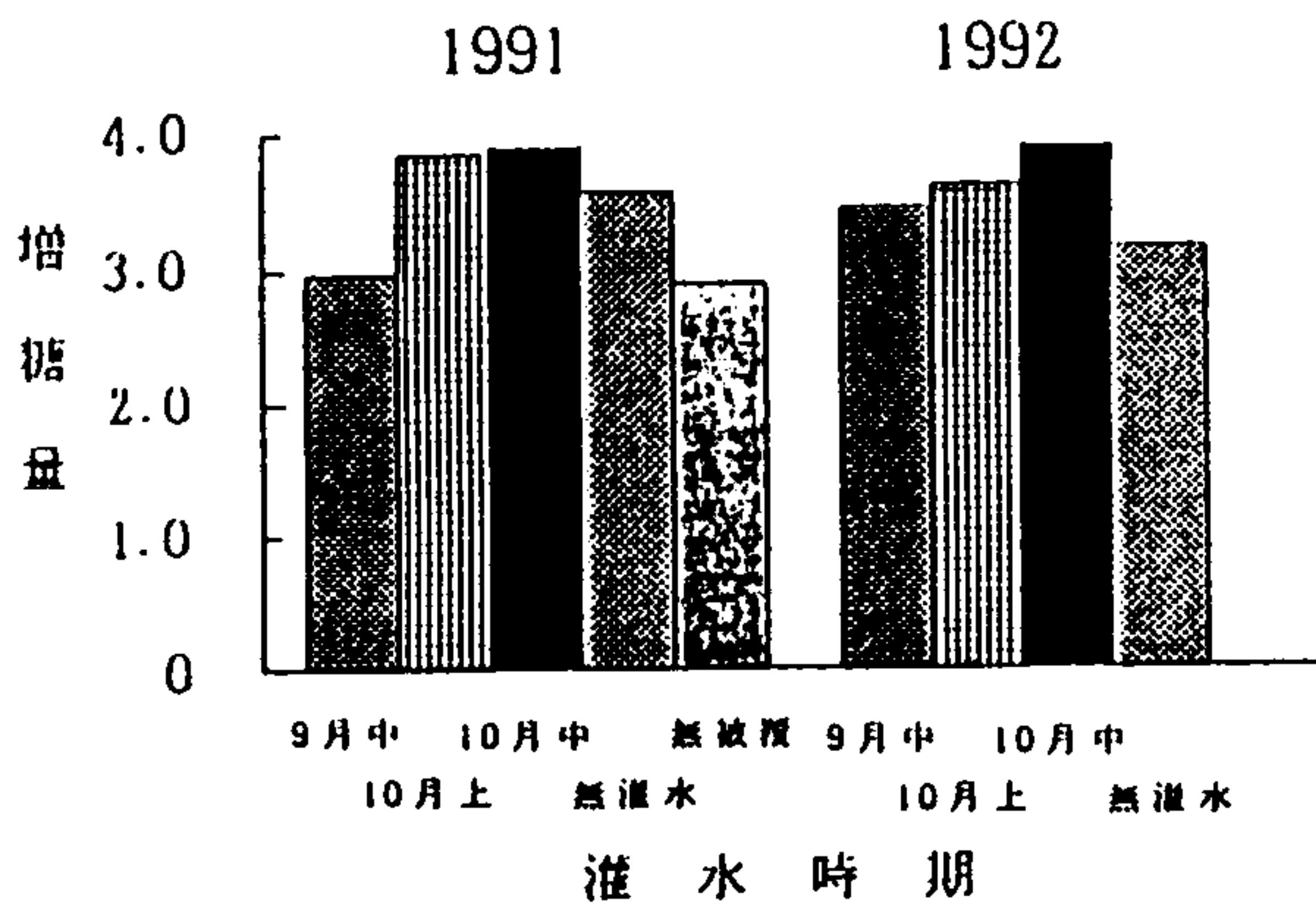


図2 灌水時期と増糖量

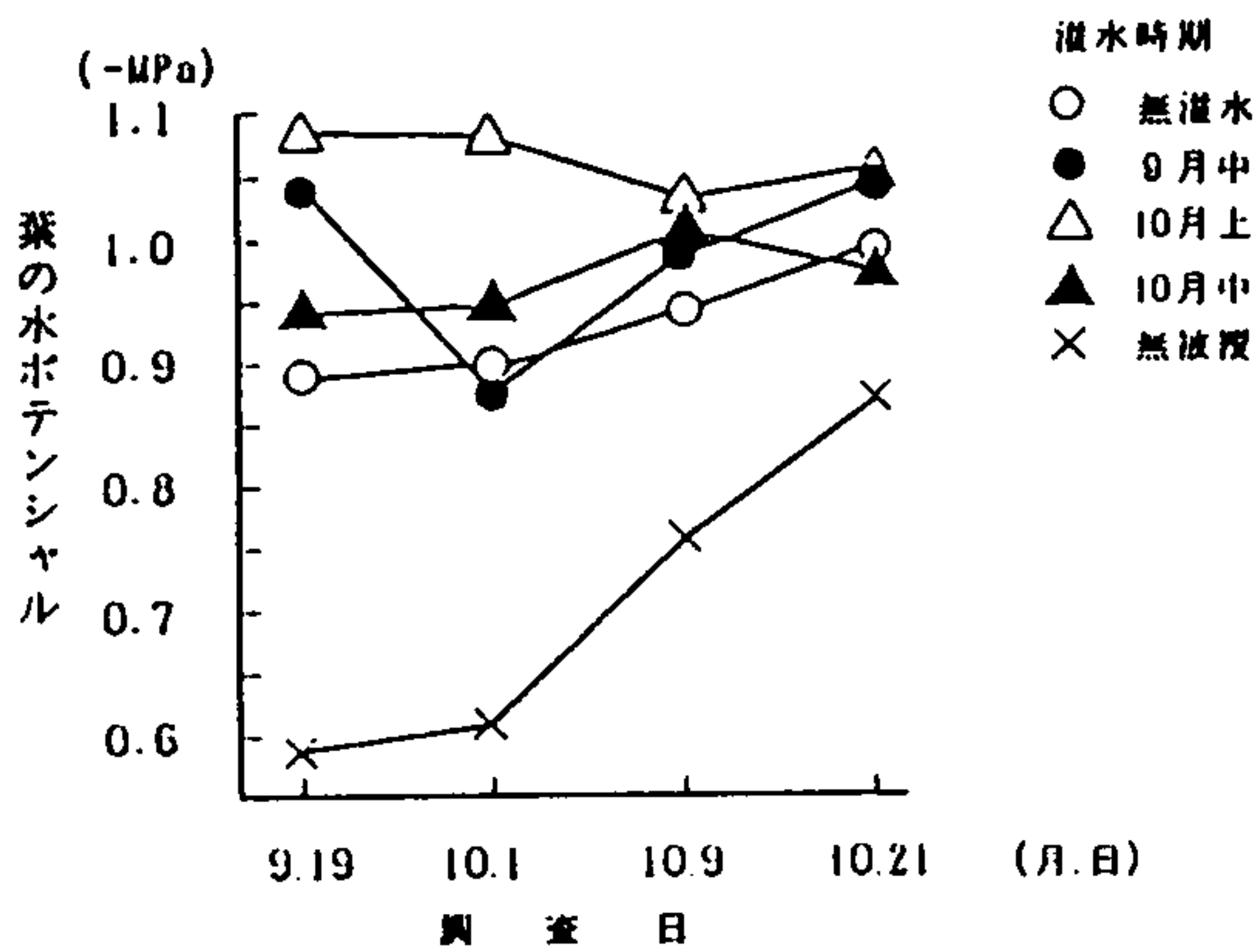


図3 灌水時期と葉の水ポテンシャル

[その他]

研究課題名 : 温州みかんの高品質果実生産技術の確立

予算区分 : 県 単

研究期間 : 平成4年度 (平成元年~5年)

研究担当者 : 岸野 功、中里一郎

既発表論文等 : な し

残された問題点 : 8月からの灌水時期及び灌水量と果実品質について、さらには葉の水ポテンシャルと根の呼吸量について調査する。